

9月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

90,222円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松用紙代)	23,320円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	12,602円
通信費(折込代、携帯電話代)	57,300円
支出計 23/9/1~23/9/30	90,222円

市政を考える 月刊武松

発行日
23/10/1

第213号

19300部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

ゼロカーボン・デジタルタウン創造 ゼロカーボンと豊かな暮らしとの両立を最先端のデジタル技術で実現

何かと話題ですが、カタカナばかりで分かりづらい面もあります。概要、意見交換会とアンケートについてお知らせします。

■ゼロカーボン・デジタルタウン創造事業について
市の「2050年脱炭素社会実現」に向けた取組を大きく加速させるため、2030年を目標に「ゼロカーボン」と「豊かな暮らし」との両立を最先端のデジタル技術によって実現する新しいモデルタウン「ゼロカーボン・デジタルタウン」の創造に取り組む。

また、モデルタウンで得られた成果を市内外に横展開していくことで、世界のカーボンニュートラルの実現に貢献していく。

■基本的な考え方 究極のゼロカーボン

エネルギーの地産地消を実現し、街のライフサイクル全体の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す。

社会変化に適応した豊かな暮らし

新たな価値を創出しながら地域課題の解決に寄与し続けることで、多様な人々の生活の質の向上を目指す。

ゼロカーボンと豊かな暮らしの実現を支えるデジタル技術

変化する時代の流れを捉えた最先端のデジタル技術を実装し、ゼロカーボンと豊かな暮らしを支える。

■計画候補地

小田原少年院跡地

面積：約2.24ha 所有者：財務省

■2023年度の予定

2023年6月～

基本構想(案)の作成

- ・現状、課題の整理
- ・計画候補地の活用方法に関する基本方針の検討
- ・備えるべき機能の検討

- ・実施主体のあり方、基礎的な事業モデル、事業採算性など
- ・事業化に向けた諸条件・課題の整理
- ・全体スケジュールの策定
- ・市場調査(計画候補地の価格調査、民間事業者の意向調査)

9月上旬 基本構想(素案)の公表

9月下旬 市民との意見交換会(計画候補地の近隣地域対象)

10月上旬 市民との意見交換会(全市民対象)ウェブアンケート

12月 基本構想(案)の公表

2024年3月 基本構想の策定

■ゼロカーボン・デジタルタウン基本構想素案に関する意見交換会

・10月7日(土) 午後2時～3時
川東タウンセンターマロニエ 集会室202

・10月11日(水) 午後7時～8時
おだわら市民交流センターUMECO会議室1～3
対象：小田原市に在住・在勤・在学の人 各回100人
申込：下記QRコードから

■ゼロカーボン・デジタルタウン基本構想に関するアンケート

市では、ゼロカーボンと豊かな暮らしとの両立を最先端のデジタル技術によって実現する新しい街「ゼロカーボン・デジタルタウン」の創造に取り組んでいます。街の基本的な考え方やビジョンを示す基本構想の策定にあたり、皆さんの意見を聴くためのアンケートを実施します。

[▼基本構想\(素案\)](#)

[▼意見交換会](#)

[▼アンケート](#)



最近、救急出動が多い？

図1より新型コロナウイルス感染者数が増えています。図2以降は消防年報を基にグラフ化。

図1 新型コロナウイルス感染者数の推移
小田原医師会管内(1市3町)

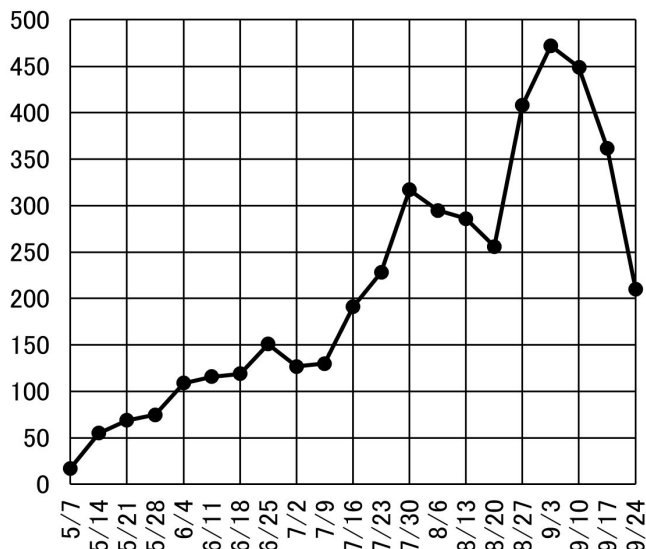


図2 救急出動件数・搬送人員・軽症の推移

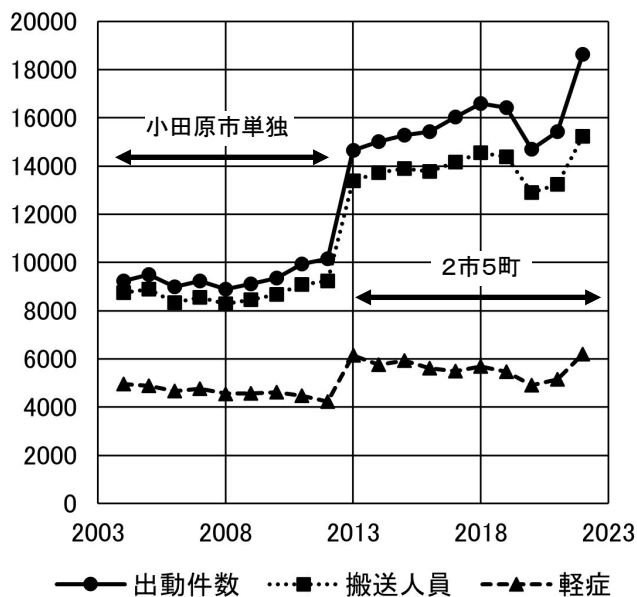


図3より、軽症の割合が40%程度まで減少。

図3 搬送人員の程度割合の推移

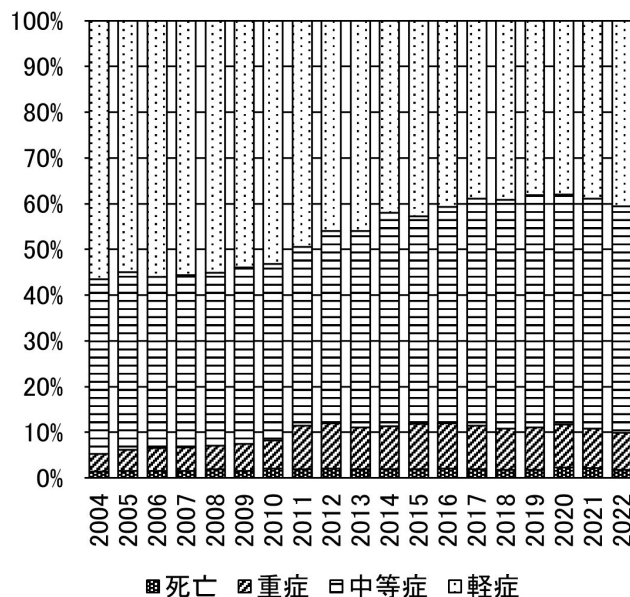
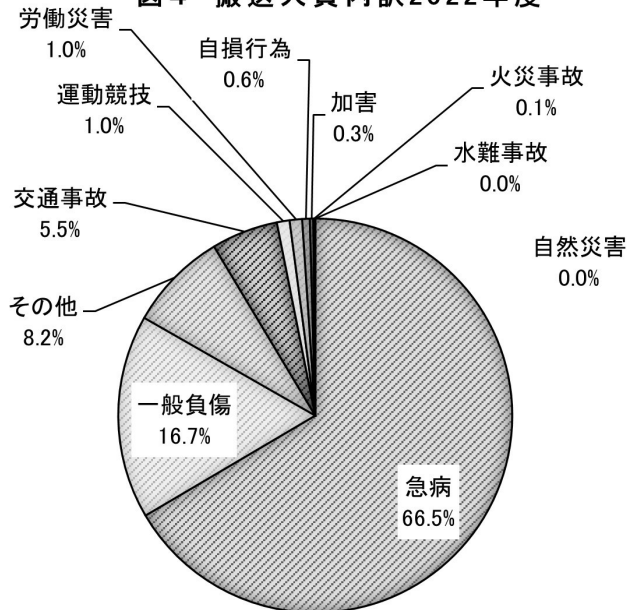


図4に2022年度の搬送人員内訳を示します。急病と一般負傷で計83.2%を占めています。

図4 搬送人員内訳2022年度



■お知らせ■

10月の議会報告会は、都合により中止します。



公式HP
月刊武松パナパナ他



twitter
防災・感染症情報



facebook
日々の情報など



気象庁キックル
洪水害

